

一般社団法人 日本薬学教育学会
2019年度第3回理事会 議事録

開催日時：2020年2月8日（土）10：00～13：00

開催場所：AP品川 10階Cルーム

理事：乾 賢一、中村明弘、有田悦子、石井伊都子、石川さと子、小澤光一郎、
小佐野博史、長谷川洋一、西口工司、平田收正

<欠席>入江徹美、亀井美和子、木内祐二、鈴木 匡、永田泰造、安原智久

監事：小池啓三郎

<欠席>市川 厚

事務局：斎藤 渉、村上 聡

議事：

1. 2019年度第2回理事会議事録（案）について

中村理事より前回理事会の議事内容が議事録（案）に基づいて報告された。

理事会のガバナンスの下で選挙管理委員会が業務を行うことを定めた規程を作成する必要性が指摘された。

2. 役員選任に向けて

- ・役員選挙の公示に対する異議申し立て

事務局から役員選任に向けた準備状況が資料に基づいて説明された。役員選挙の公示内容や立候補届の様式について確認し、一部修正を行った。

- ・選挙人・被選挙人名簿の公開と役員立候補について

選挙人526名および被選挙人359名の名簿を資料で確認した。名簿はすでに選挙管理委員会を確認済みであり、来週中に359名の被選挙権者に立候補届受付開始のメールを配信することとした。本理事会の後、名簿をホームページにアップロードすることとした。

投票の具体的な人数について協議した結果、不完全連記方式の6名連記とし、7名以上の連記については無効とすることとした。当選には1票以上を必要とし、同数の場合は年長者を当選とすることが確認された。また、本選挙は役員候補者の選出であることを明示することとした。

3. 2019年度学会賞の募集状況について

安原理事から提出された資料に基づき、2019年度学会賞の応募締切日を3月9日（月）まで延長していることが報告された。本学会賞がまだ創設2年目であることから、さらなる周知を会員に向けて行うこととした。今後、学会賞の受賞者、受賞内容、選考委員長のコメント等を学会ホームページや学会誌に掲載することが提案された。また、本質的には薬学教育研究を活性化し、学会誌「薬学教育」への論文投稿を増やしていく必要があることが指摘された。

4. 「教育コンピテンシーの全国測定に関する研究会」の開催について

安原理事から提出された資料に基づき、「教育コンピテンシーの全国測定に関する研究会」の開催概要の確認を行った。定款第36条第2項に基づいて開催する研究会であり、会員への案内通知文などは誤解が生じないように一部修正することとした。修正点については中村理事から安原理事に伝えることとした。

5. 「倫理教育推進委員会（仮称）」の設置について

有田理事より定款第38条第1項に基づき、倫理教育に関する委員会の設置が提案された。協議の結果、「倫理教育委員会」を設置することが承認された。新委員会の任務、構成及び運営に必要な事項など具体的な内容については、改めて有田理事が原案を作成して提案することとなった。

6. 薬学実務実習委員会による第5回大会プレ企画シンポジウムの開催について

前回理事会で設置が承認された薬学実務実習委員会の活動として、令和2年3月29日に名古屋市立大学薬学部において第5回大会プレ企画シンポジウムを開催することが報告された。開催経費は30万円程度で、学会予算から支出する。薬学実務実習委員会の設置と本シンポジウムの開催を、ホームページ等で会員に周知することとした。

7. 第5回大会の準備状況について

小佐野理事より第5回大会の準備状況が資料に基づいて以下の通り報告された。大会の運営は第1回～第3回と同様にハイコムに依頼した。特別講演、教育講演は決定しており、シンポジウムとワークショップの企画を募集中である。学生の大会参加とポスター発表を促し、学生優秀発表賞についてもさらに広報する。

日本私立薬科大学協会が発行している「6年制薬学ガイド」を300部用意し、大会会場で配布することが承認された。100部は日本私立薬科大学協会が提供し、200部は大会事務局が購入することとした。

8. 編集委員会報告：「薬学教育」第3巻の発行

編集委員の石川理事より学会誌「薬学教育」第3巻冊子体を発行し、会員に送付したことが資料に基づいて報告された。第3巻冊子体には新たに本学会の歩みを掲載した。これから毎年内容を追加していくと共に、将来的にはホームページにも掲載する。

9. 広報活動について

広報担当の石川理事より、本日の理事会の内容を受けて、会員への広報を行っていく方針であることが報告された。会員へのメール送信の最終原稿は石川理事が確認することとした。

10. 予算執行状況について

事務局より予算の執行状況について以下の報告があった。理事会の開催が事業計画よ

り増えているので、会議費および旅費・交通費が予算を超える可能性があるが、全体としては予算内に収まる予定である。

11. 6th AASP Pharmacy Education Forum 2020 について

乾理事長より、6th AASP Pharmacy Education Forum 2020 が7月17-19日にインドネシアで開催されることが紹介された。本会の名称はこれまで Deans Forum であったが、学部長だけでなく広く参加者を募るために名称が変更された。乾理事長が2020年度から2年間は president elect、2022年度から2年間は president を務めることが報告された。

12. 第52回日本医学教育学会大会（7月17-18日、鹿児島）シンポジウムについて

中村理事から、第52回日本医学教育学会大会において医療系教育学会のコラボシンポジウムが企画され、本学会事務局に協力依頼が届いたことが紹介された。標記大会の開催日が6th AASP Pharmacy Education Forum 2020 と重なり、乾理事長が出席できないため、副理事長の中村理事がシンポジストとして参加することが報告された。

13. 現在の会員登録状況について

事務局より資料に基づいて会員登録状況が報告された。会費納入率が84%から88%にあがったことが確認された。

14. 理事会の開催スケジュールと次回理事会の開催について

次回理事会を4月30日（木）14時～17時に開催予定であることが確認された。

（議事録文責：中村明弘）

以上の議事内容を明確にするため、本議事録を作成し、理事長及び出席監事がこれに署名捺印する。

2020年 2月 8日

一般社団法人日本薬学教育学会

理事長 乾 賢一

監 事 小池啓三郎